



1月下旬に奥日光で 雨 が降るなんて…

写真は、今年（2024 年）の1月 21 日に撮影した、ビジターセンターの玄関前の様子です。地面が光っているのは凍結しているからではなく、水たまりができていたため。この日は早朝に雪が降り、7 時頃から雨に変わり、昼過ぎまで降り続けました。

事前の天気予報ではメディアによって雨、みぞれ、大雪とバラつきがありましたが、スタッフは皆「みぞれか雪だろう」と考えていました。ところが予想は大ハズレ。この時季に聞こえるはずのない「ザーッ」という雨の音が、湯元内に響いていました。

また、例年であればどんなに雪が少なくても1月中旬までには開設される湯元スキー場もスノーシューコースも、この日の時点でクローズのまま。いや、むしろ閉まっていた良かったのかも…。スキー場もスノーシューコースも、例年より2週間近く遅れての開設でした。

今年は、大雪が降っても翌日、翌々日の気温が高く、積もっては融け、また積もっては融け…を繰り返すことが多いように感じます（執筆している2月上旬時点）。「暖冬」が話題になりましたが、奥日光もその例外ではないようです。来冬はどうなるのでしょうか…。

定期購読のご案内

発行日にご自宅まで本誌をお届けします。

「楓通信」購読料 **1,000 円**

2024 年 3 月号 (No.156) ～2025 年 12 月号 (No.163)

※本誌は無料。送料、手数料として頂きます。

【申し込み方法】

ビジターセンターで申込書にご記入いただくか、下記まで氏名・住所・電話番号をご連絡ください。

＼アドレスが変わりました／

✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

2024 年 3 月初旬発行 [次号 2024 年 6 月初旬発行予定]



千手ヶ浜のオオヤマザクラ

今号の特集

< 特集 1 > くさい！汚い！だけじゃない ウンチからわかること

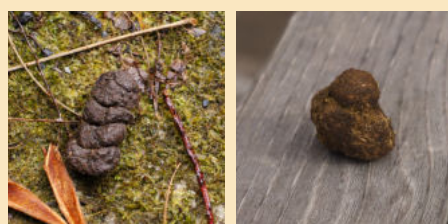
< 特集 2 > ゆく鳥・くる鳥 ～春先に見られる鳥たち～

くさい！汚い！だけじゃない！ ウンチからわかること



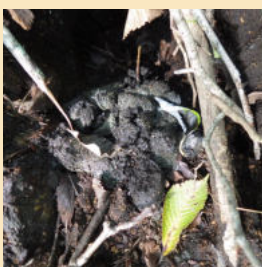
ニホンジカ

黒く、短い円筒形のウンチを数十粒します（数百粒の場合はカモシカの可能性もあり！？）。春～夏は粒同士がくっつき、右の写真のように塊状になることもあります。



ニホンザル

節に分かれた円筒形、もしくは完全に分かれた粒状のウンチをします。新緑の季節にはよく新芽を食べるため、緑色になります。他の動物に比べてにおいが強めなのも特徴。



アナグマ

色は黒。軽く穴を掘り、そこにウンチをすることが多いです。ミミズや昆虫を食べることが多いため、種子が混じることは少ないです。



タヌキ

家族で同じ場所に繰り返しウンチをする「ため糞（ふん）」が特徴。写真はまさにその様子。雑食性のため、種子や昆虫が多く混じります。



ツキノワグマ

食べたものによって色やにおいが異なります。例えば、ドングリなら右の写真のように黄土色に！若葉を食べたときは緑色で、茶葉のようなにおいがします。果実の場合は甘酸っぱい香りです（本当です）。クマは消化能力が高くないため、ウンチに食べ物が比較的残りやすいです。また、ダイナミックな大きなウンチであることも特徴です。



テン

太さ約 1cm、ボールペンくらいの細いウンチが特徴。石、倒木、木道上など、目立つ場所にあることが多いです。雑食性のため昆虫、種子などさまざまなものが混じります。



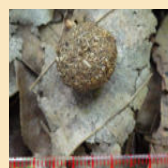
キツネ

太さ 1～2cm と、ボールペンより太いウンチをします。テンと同様に、目立つ場所で多く見られます。動物の毛や骨、昆虫、まれに種子が混じることも。



ムササビ

茶色い、直径 5mm ほどの小さな丸いウンチが特徴。巣穴のある樹木の近くによく落ちています。



ウサギ

直径 15mm ほどの大きさ。少し平らな丸い形です。1 粒だけのときもあれば、数粒落ちていることも。

晴れた空のもと、ハイキングを楽しんでいると、歩道上に小さな何かが落ちています。近づいてみると、どうやらそれは動物のウンチのようです。「あらやだ」と避けて通りたくなる気持ちも分かりますが、ちょっと待ってください！動物に興味がある方もそうでない方も、もう少しく見てみましょう。動物のウンチは、私たちに色々なことを教えてくれますよ！

物が生息しているのかを知る手がかりになるのです。また、その動物が何を食べたのかも分かります。ウンチの中には、消化されなかった食べ物（植物の種子、動物の毛、虫の体の一部など）が残るため、そこから判別できます。同じ動物でも、季節や地域によって食べ物や異なるので、比べてみると面白いですよ。

他にも、ウンチの数や分解の早さなどから、その動物がその地域にどのくらい（の数）生息しているのかを推定することもできます。これは専門的な話なので、気になる方は「糞粒法（ふんりゅうほう）」や「糞塊法（ふんかいほう）」で調べてみてください。

このように、ウンチは動物たち

の情報を伝えてくれる重要な手がかりなのです。さらに、足跡など他の痕跡と合わせれば、「あの木でこの実を食べたのかな」と、動物たちの生活の様子まで見えてきます。このように想像力を働かせると、ハイキングや自然観察がより楽しくなりますよ！

ただし、注意点もあります。当然ですが、ウンチには寄生虫がいるため、素手で触らないようにしてください。棒や手袋を使ってください。観察したあとは、手洗いと消毒を忘れなく。

写真・文 まつもと

オオルリ



濃く鮮やかな青い体が特徴。こんなビビットな色ならすぐ見つけられるだろうと思いきや、スズメほどの大きさのため、茂みに隠れられると見つけにくい…。新緑が始まる5月以降によく見られ、切込湖・刈込湖方面での目撃が多め。しかしこれまた針葉樹の暗い林の中にあることが多く、案外見つけられないのですよねえ…。

くる鳥（夏鳥）

3月に入ると遠い南の国からやってきて、姿を現わす鳥たち。湯元温泉を散歩するだけでも出会えるかも！



ニュウナイスズメ

奥日光でスズメを見たら、この子かもしれません。よく見ると、街なかにいるスズメより色鮮やか。スズメはほっぺたに黒いホクロのような模様がありますが、ニュウナイスズメにはありません。「スズメっぽいけどなんか違う…？」と違和感を感じたら、じっくり観察してみてください。

イワツバメ



奥日光でよく見るツバメといえばこの子。名前の通り、山地や崖などで繁殖することが多いツバメです。湯元ではホテルや旅館の壁に巣を作ります。温泉街を散歩しながら旅館の壁の上の方を見ると、それらしき物があちこちにあるはず。観察していると親鳥が巣に行き来する場面も見られます。



ノビタキ

戦場ヶ原の湿原に生える低い木のでっぺんを見ると、この子がとまっているかもしれません。喉もとのオレンジ色が特徴的です。「野原によくいるヒタキ類」からその名がついたとか。

休憩していたら近くの木にノビタキが！なんてこともしばしば。戦場ヶ原の木のでっぺん、要チェックです！



ヒドリガモ

オスは茶色の頭に黄色い額が特徴。水底に生える水草を食べるのが大好きなのに、潜水が苦手。潜りが得意な他のカモが取ってきた物のおこぼれをもらったり、時には奪ったりもするお調子者。行動に注目すると、そんなシーンを目撃できるかもしれません。



ミコアイサ

「パンダガモ」とも呼ばれ、まさにパンダのような風貌のカモ。この色合いが昔の巫女の白装束に似ていたことから名づけられたとも言われています。

体が白く目立つのですが、警戒心が強く岸から離れたところにいることが多いため、なかなか近くでお目にかかれません。嗚呼、遠き鳥界のパンダ…。

キンクロハジロ

黒い頭にひときわ輝く金色の目と、寝ぐせのようにハネている後頭部が特徴。この寝ぐせ（ではないけど）、冠羽（かんう）という長く伸びた羽で、オスもメスも共通で生えています。右の写真はメス。オスは冠羽が長く、お腹の羽が真っ白です。

目が金色で体が黒く、翼を広げると白い帯があることからキンクロハジロ（金黒羽白）の名がついたそう。覚えやすいですね！



やっと暖かくなってきた奥日光。寒さを求めて去っていく鳥がいれば、涼しさを求めてやってくる鳥もいます。そんな、ゆく鳥くる鳥の一部を今回はご紹介。

ゆく鳥（冬鳥）

暖かくなると去っていく鳥たち。長くて4月頃まで、奥日光に滞在しています。

ゆく鳥
くる鳥

掲載した解説文は、ビジターセンターの展示、**野鳥コーナーにあるものから一部抜粋**しています。他の鳥についても同様に紹介していますので、ぜひ他の展示も見にいらしてくださいね！

ビジターセンターイベント

あなたの知らない湯元のヒミツ

～昔の湯元は男だらけ！？そんなオモシロ歴史を紐解く～

4月28日, 5月3日
13:00-15:00

旅館へのチェックイン前にガイドとお散歩はいかがですか？サブタイトルにある内容だけでなく、湯元の名所を巡りながら街探検をするゆったりツアー。初めて湯元を訪れる方にも、よくご存じの方にも発見があるはず！明るく元気なガイドがユーモアたっぷりにご説明、ご案内します！

【ルート】湯元温泉街周辺

参加費 1,000 円

対象：現地に集合できる方
集合場所：日光湯元ビジターセンター



定員 各回 15 名

復活！シカ革細工教室

4月14日, 5月12日
6月9日（日曜実施）
14:00-15:00

感染症対策のため長らくお休みしていたシカ革細工教室が復活！ストラップ、ブレスレット、しおりの中からお作りいただけます。奥日光のシカ問題について知っていただくために、簡単なシカレクチャーつき！詳細はHPをご覧ください！

【実施場所】日光湯元ビジターセンター館内

参加費 1,300 円

対象：現地に集合できる小学生以上の方
集合場所：日光湯元ビジターセンター



定員 各回 10 名

ゼロから始めるバードウォッチング

5月4日, 5日
9:30-11:30

バードウォッチングが全く初めての方に向けたイベントです！鳥の探し方、双眼鏡の使い方など、丁寧に確認しながらレクチャーします。野鳥大好きお兄さんによる鳥の解説も好評です！もちろん双眼鏡レンタル付きなので、手ぶらでお気軽にご参加を！

【ルート】湯元温泉街周辺

参加費 1,000 円

対象：現地に集合できる方
集合場所：日光湯元ビジターセンター



定員 各回 10 名

みんなで行けば怖くない！中禅寺湖南岸シャクナゲツアー

5月19日（日）
10:00-15:00

歩く人が少なく、個人で行くにはちょっと勇気がいる中禅寺湖南岸コース。実はシャクナゲのスポットなんです！みんなで行けばきっと楽しい！さらに今回は、千手の森の湧水スポットにも寄り道。いざ、シャクナゲのトンネルと秘密のスポットへ！

【ルート】千手ヶ浜→中禅寺湖南岸（途中まで）
→千手湧水→千手ヶ浜

参加費 4,000 円

対象：現地に集合できる小学生以上の方
集合場所：千手ヶ浜バス停（低公害バス利用）



定員 15 名

お申込み先（自然公園財団日光支部）

＼アドレスが変わりました！／
✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

お申込みの際、下記をお知らせください。

- ①氏名②令和3年～5年実施イベントの参加有無
- ③性別④年齢⑤住所（郵便番号含む）⑥電話番号
- ⑦当日の交通手段